平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立楠見東小学校			
校長氏名	棚田修司			
作成日	平成30年12月11日			

1 教育目標

正しい人権意識を持ち、豊かな知性と情操を身につけ、健康で自主性に富み、みんなと協力して力強く生きぬく子を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	本年度の収益についての計画				
	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校	
	○全国学テ結果○県学習到達度調査○授業アンケート	〇学校アンケート 〇いじめアンケート	○スポーツテスト ○生活調べ	〇学校アンケート 〇学校運営委員会	
7111	◎国語科を研究の窓口とし、コミュニケーション能力の育成に努める。○課題に意欲的に取り組み、自ら学び考えていこうとする力を育てる。		◎体力向上の推進。◎基本的生活習慣の確立。○生命・安全の確保と守る力の習得。	◎学校からの情報発信を工夫し、連携が深められるようにする。 ◎コミュニティースクールとして 地域や保護者の願いを学校運 営に積極的に取り入れる。	
組の状	○「東タイム」を設定し基礎学力の向上に努める。 ○「チャレンジタイム」を設け授業内容の定着を図る。 ○「きのくに学力定着フォローアップ事業」を活用して授業改善を進める。 ○「家庭学習の手引き」を配布して家庭学習の充実を図る。	○掃除や挨拶など基本的な生活習慣の定着を進める。 ○様々な体験活動を実施して豊かな心を養う場を積極的に設ける。 ○「子育て支援ネットワーク楠見」や「介護老人施設エスポワール」の方々と交流を通して児童の豊かな心の醸成を図る。 ○様々な集会活動を通じ、異年齢交流を進め児童の豊かな心を養う。	○「早寝、早起き、朝ごはん」の 推進を行う。 ○生活調べを実施して基本的生 活習慣の定着を図る。 ○避難訓練や交通安全教室を 実施して安全への学習を深め る。	○地域へ「学校だより」を配布して積極的に情報発信に努める。 ○民生児童委員との懇談会をもち情報交換を進めることにより生活指導の充実を図る。 ○地域と共催の行事に積極的に参加し、開かれた学校になるように努める。 ○地域の人材を積極的に活用する。	
結果の成果	○「東タイム」「チャレンジタイム」の実施が定着し学力の向上に寄与している。 ○「きのくに学力定着フォローアップ事業」で授業力の向上の結果、アンケートから授業内容が効果的に伝わることに繋がっている。 ○「学力テスト」の結果は年により波がある。全体としては向上しているが、波がないように向上することが重要である。	ティア」の活動を通して児童の豊かな心が養えるよう、体験学習を実施している。 〇児童会活動や集会活動で異年齢交流を積極的に行い、豊かな心を養える活動を行っている。 〇まだまだ多くの体験活動を実施して児童の豊かな心を醸成す	に学習した。 〇様々な場所、様々な時間帯に	○「防災訓練」や「人権講演会」、 「子ども会行事」に積極的に参加 している。 ○「こどもセンター」や「食育」、 「おもちつき」、「読み聞かせ」な	
区に	を継続する。 〇「きのくに学力定着フォロー アップ事業」などを積極的に活用 し授業力の向上を図る。	〇児童会活動や集会活動で異 年齢の縦割り活動を充実さす。	○生活調べを継続し、改善するための方法を考えるように実施する。 ○訓練を様々な場所、様々な時間帯において安全が確保できるように、工夫して実施する。	○「学校だより」の配布を続ける。 ○民生児童委員との懇談会を継続する。 ○多くの地域行事に積極的に参加する。 ○さらに多くの地域の方々の協力を得る機会を増やす。	

3 その他の課題

・学校は楽しい学習の場であり、児童一人一人が生き生きと活動できなければならないと考えます。心地よい居場所としての学校はどうあるべきか、人的・物的に限りがある中でできる限り実現できるよう努めていきたいと思います。そのために地域や関係諸機関と連携を図り、時には積極的に協力を得ることが重要と考えます。今後もさらに開かれた学校になり、多くの方々の力を結集して学校教育の充実を図りた いと考えます。